

新型コロナウイルス感染症予防用
衛生用品備蓄プロジェクト要項

- 1 趣 旨 今後の災害発生時における、災害ボランティアセンターや災福ネット等の支援活動において、新型コロナウイルス感染症の予防対策に備えて、長野県はじめ行政による衛生用品の備蓄が活用できないと考えられる状況を想定して、民間レベルで最低限の備蓄を行う。
- また、衛生用品の確保にあたっては、障害者就労支援事業所の仕事づくりを兼ねて取り組む。

2 想定される状況

感染症の発生が確認されていない次の状況で予防のために使用する場合

- (1) 災害ボランティアセンターの活動が必要となった場合のボランティア用、運営支援者用
- (2) 長野県ふくしチームの活動が必要となった場合のチーム員用
- (3) 通常の在宅福祉サービス事業において、保健所から感染症予防のため一部職員の自宅待機を指示された場合等で、勤務する介護員等が使用を希望する場合

3 備蓄目標（検討中）

品 目	ボランティア用	VCスタッフ用	ふくしチーム用	在宅予防等
マスク	N95×20,000枚購入		サージカル（1万枚）	
フェイスシールド		1,000枚 ※企業協力等		
防護服		3万枚（買取+ボランティア）		
手袋	作業用 5,000枚	（使い捨て）1万枚購入		
消毒液	購入			

4 防護服プロジェクトについて ※別紙エントリーシート参照

- 5 実施主体 長野県社会福祉協議会
長野県災害福祉広域支援ネットワーク協議会（災福ネット）
長野県セルフセンター
協賛社会福祉法人（長野市社会事業協会、花工房福祉会、絆の会）

6 経 費 250万円

- (1) 災害ボランティアセンター準備金（共同募金等）
- (2) 災害福祉広域支援ネットワーク事業（全国経営協補助）
- (3) 寄付金等（農福片付けプロジェクト4法人）

災福ネット事務局（長野県社会福祉協議会）
（担当） 佐藤 橋本 阿部
TEL：026-228-4244 FAX：026-228-0130
E-mail:kikaku@nsyakyu.or.jp